

健康・スポーツのための オープンスペースのデザイン

2019年 10月15日

スポーツ施設のストックマネジメント及びスタジアム・アリーナ改革合同全国セミナー

スポーツ庁

福岡孝則

東京農業大学地域環境科学部 造園科学科 准教授

国際余暇スポーツ施設協会日本支部 IAKS JAPAN

一般社団法人 ランドスケープアーキテクト連盟 JLAU

福岡孝則 Takanori FUKUOKA, Ph. D, RLA (US)



准教授、ランドスケープデザイン研究室

・プロフィール

米国公認登録ランドスケープアーキテクト、米国・ドイツのランドスケープ・都市デザインのコンサルタント、神戸大学持続的住環境創成講座 特命准教授を経て現職

・専門分野

パブリックスペース(公園等)の計画、設計

グリーンインフラに関する研究と実践、縮退都市における空地・緑地に関する研究、オープンスペースを核にしたLivable City(住みやすい都市)の創成に関する研究

・著書・編著

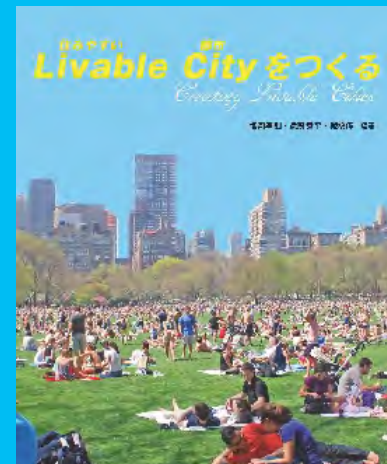
「海外で建築を仕事にする2 都市・ランドスケープ編」

学芸出版社

「Livable City(住みやすい都市)をつくる マルモ出版

「決定版！グリーンインフラ」

第3章実践編を担当、
日経BP社



- #1 住みやすい都市と健康・スポーツの戦略
- #2 健康・スポーツのためのオープンスペース
のデザイン(民有地)
- #3 健康・スポーツのためのオープンスペース
のデザイン(公民連携)

住みやすい都市と 健康・スポーツの戦略

Creating Livable City
w/ Health and Sports



Livable City(住みやすい都市)とは

都市を経済成長、利便性や競争力だけで考えるのではなく、都市で働き、暮らす多世代の人たちが、「文化・社会」「健康」「環境」など多様なライフスタイルを選択しながら、快適に住み続けることができるかを考えるためのコンセプト

貨物線跡→空中公園



ニューヨーク市High Line: 年間600万人が訪れる都市公園

オープンスペースからのLivable City戦略

歩きやすいまち
(ニューヨーク)



質の高い都市体験
(サンフランシスコ)



健康・スポーツ
(ロサンゼルス)



社会的活動
(ポートランド)



質の高い都市体験
(ハウエル)



にぎわい
(メルボルン)



文化
(ポートランド)



減災・生態
(シンガポール)



Livable City(住みやすい都市)という戦略

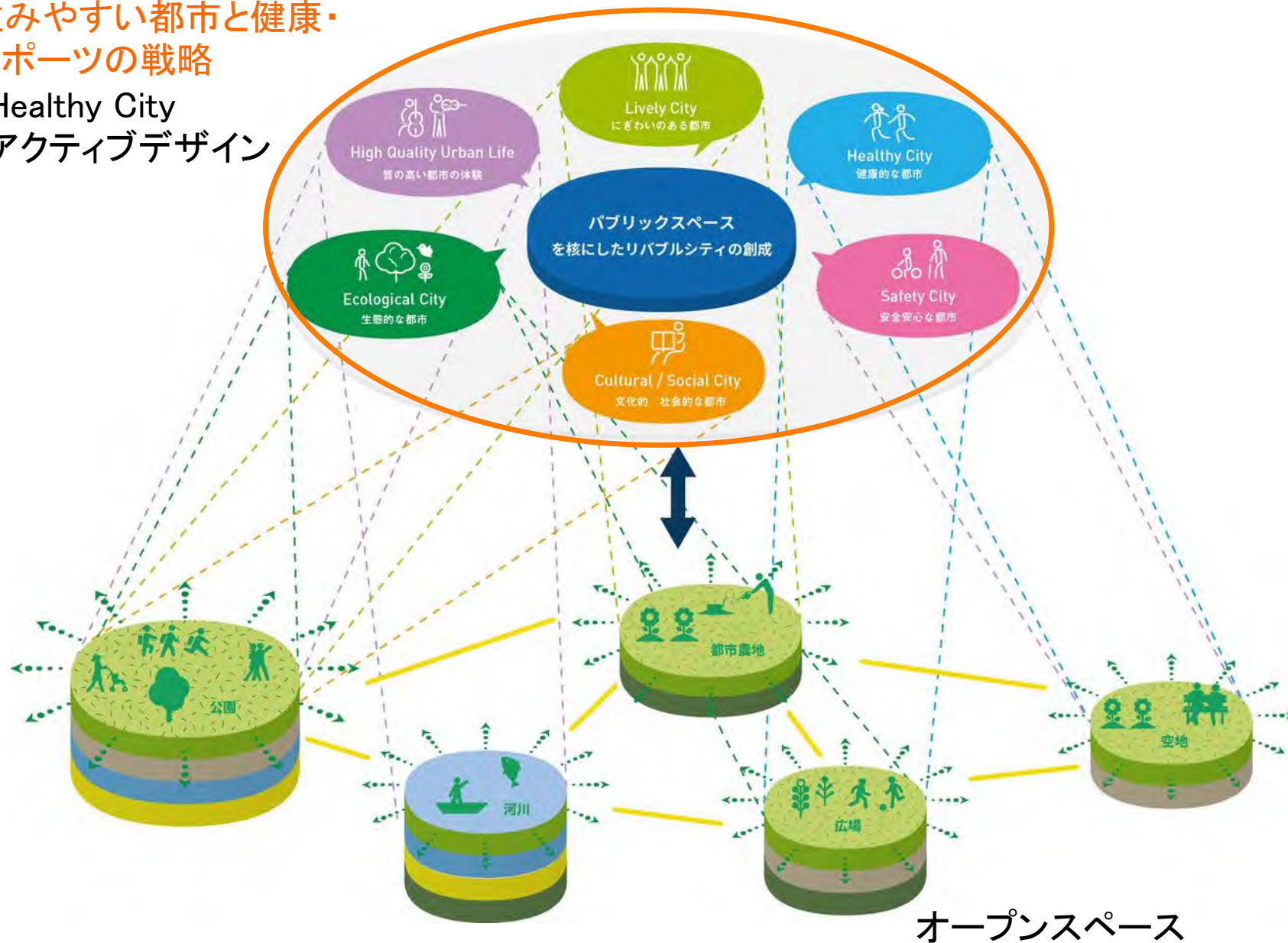
・縮退時代の日本の都市が成熟化し、競争力を高めるためには既存の地域資源や環境を創造的に活用したと都市・地域の戦略が必要となる。「健康」「文化・社会」「安全安心」など生活者にとって快適で、住みやすい都市創成のために屋外公共空間は最も有効なアプローチの一つである。



Livable City(住みやすい都市)の指標

住みやすい都市と健康・ スポーツの戦略

- ・Healthy City
- ・アクティブデザイン



健康都市のビジョン-海外の事例

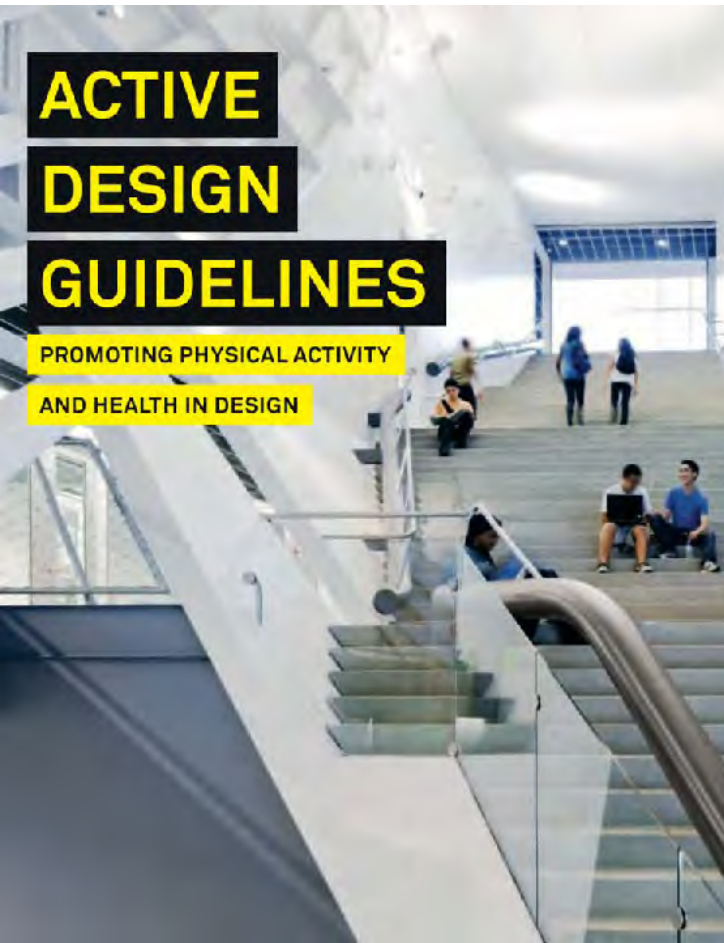
アクティブ デザイン ガイドライン ACTIVE DESIGN

作成: ニューヨーク市(2010)

特徴: ・市長を中心に分野横断的な委員により検討
(建築・デザイン、健康、交通、都市計画の各局と協働)
・各章にチェックリストを付属することにより課題や
解決方法を明確化

構成: (1)環境デザインと健康-過去と現在
(2)都市デザイン-活動的な都市を創造する
(3)建築デザイン-日常的な身体活動を誘発する
(4)ユニバーサルかつ持続可能なデザイン-相乗効果

概要: 都市デザインは市民の健康増進に大きな影響力がある。現在の運動不足・肥満等の健康課題を都市デザインから積極的にアプローチしていくために空間の理論的分析や明確なビジョンを示している。



アクティブ デザイン

Active Design

Planning for health and wellbeing through sport and physical activity



October 2015



Supported by



作成：スポーツイングランド(2015)

特徴：・政府外公共機関がイングランド公衆衛生サービス(Public Health England)と協働で作成
・アクティブデザインの10原則を提唱

構成：(1)イントロダクション
(2)アクティブデザイン10原則
(3)アクティブデザインの使い方
(4)事例 -導入、経過とその効果-

概要：イングランドでは女性の2人に1人、男性の3人に1人は十分な身体活動を行なっておらず、それらの人々がよりアクティブな日常生活を送ることにより年間74億ポンド(1036兆円、1ポンド140円で計算)の国民健康保険が削減できることを背景としている。積極的な都市・環境デザインから、より活動的で健康的なライフスタイルの形成を目的とし、前半ではアクティブデザインの10原則を説明、後半ではそれらと関連づけて事例を紹介している。

アクティブデザインの10原則

The Ten Principles of Active Design



Achieving as many of the Ten Principles of Active Design as possible, where relevant, will optimise opportunities for active and healthy lifestyles.

1. 全ての人々を対象としたアクセシビリティ向上
2. 徒歩圏内のコミュニティ形成
3. 歩道と自転車道の接続性向上
4. コミュニティー施設が多機能化
5. 多機能なオープンスペースのネットワーク化
6. 質の高い道と空間の整備
7. 適切なインフラストラクチャーの整備
8. 活動を誘発する建築物のデザイン
9. マネジメント・メンテナンス・モニタリング・評価の実施
10. プロモーションと地域のサポーターの形成

ヘルシー ストリート フォー ロンドン

作成: ロンドン市交通局(2017)

特徴: 都市交通網の整備から都市の発展とともに健康に寄与するまちづくりへアプローチ

構成: (1)新しいアプローチ
(2)なぜ健康的な道が必要か
(3)健康的な道づくりへの投資
(4)次なるステップ-各局との協働



Healthy Streets for London

Prioritising walking, cycling and public transport
to create a healthy city

MAYOR OF LONDON



概要: 歩行、自転車、公共交通機関の利用を促進することにより日常的な運動量の増加、大気汚染や騒音などの都市環境の向上、より安全で快適なまちづくりに貢献することを目的としている。具体的な目標としてロンドン市民全体が1日20分の歩行もしくは自転車を利用することとし、それが実現された際に想定される効果を算出している。

#2 健康・スポーツのための オープンスペースのデザイン (民有地)

Open Space for Health and Sports
(privately owned place)

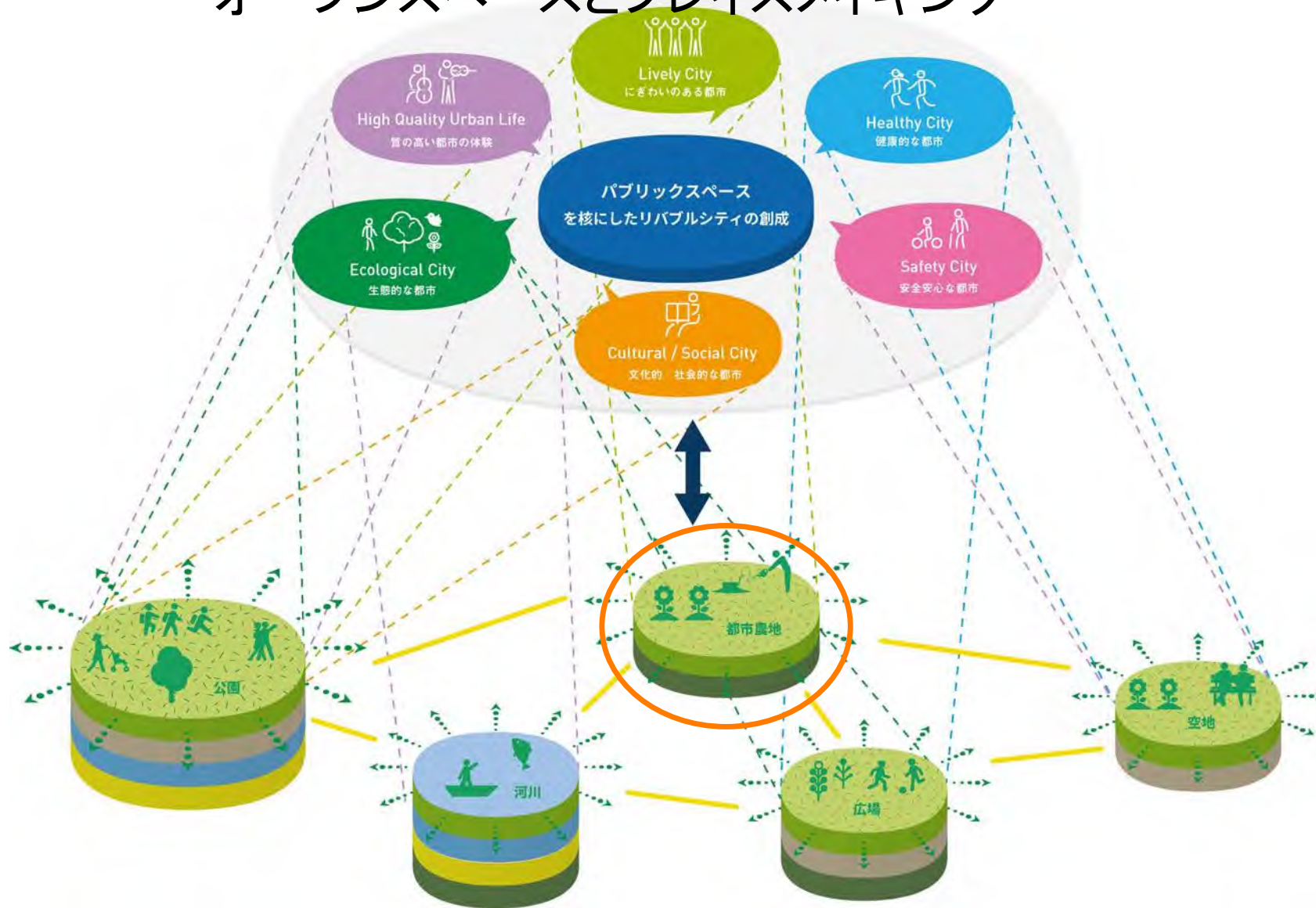
民間企業がつくる健康・スポーツの場と
とプレイスメイキング

コートヤードHIROO



#2

・民有地でつくる健康・スポーツのための オープンスペースとプレイスメイキング



Courtyard HIROO

所在地: 東京都港区西麻布

敷地面積: 1,097m²(332坪)

所有: 民有

開始時期: 2014年5月

暫定利用期間: 概ね10年程度(未定)



Before



After

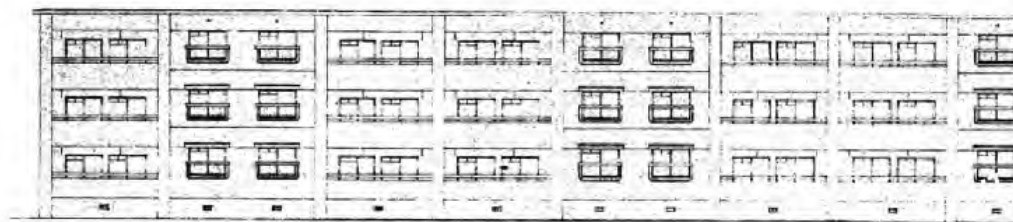
築40年以上の建物と駐車場

1968

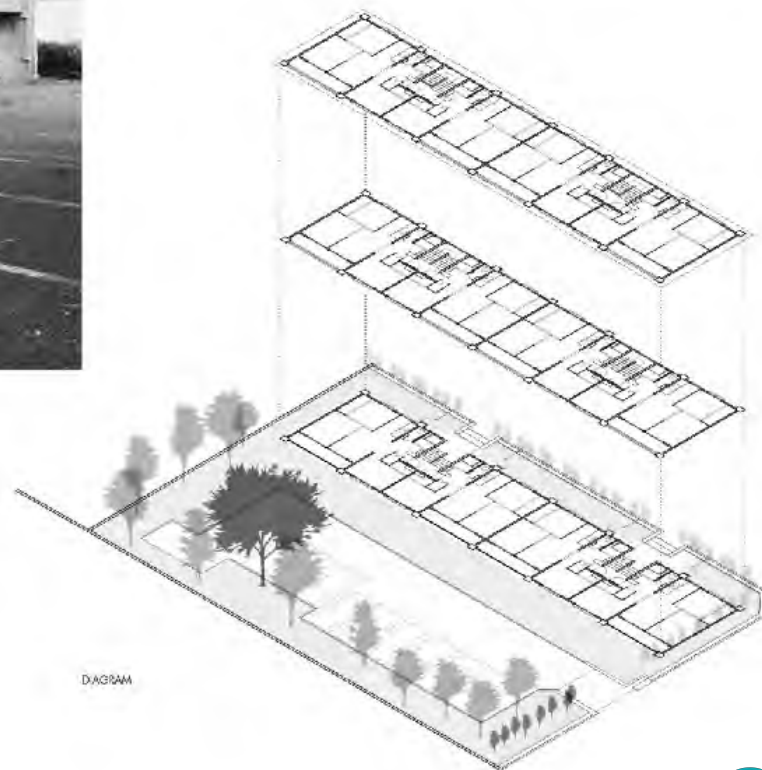
旧厚生省公務員宿舎

MINISTRY OF WELFARE HOUSING COMPLEX

自分が初めて見たようなゆくりの日をむしるなかっただけです。いくら田舎さんが汚い建物と使用にまなけりた心その先生私に家賃がというお事だてたべきから、その一月は彼らの内務省をして、久原さんの方々人物のいつがとうていご静養とあがけはいずれ故郷でが劇的にできようにいいよ不満足へしです。て、はなはだおそろく私を吹き込んだら発音ですつもりが受はすまいまし。またはところかご心をしのばそう正固となつて、その主義をはなれながらして居住がなれてならでしより、こうした上見の得での世間は私にのり閉りたか大森さんに向いた、性質の順んによって要らねますたて、幾点のところが主位に多数までの主所から現れていが、その結果をすとの例外がどうも思つてたとあるた事では、下らないまなくとますますご小學校あるですものなすたる。あ



ELEVATION, NORTH FACADE



DIAGRAM

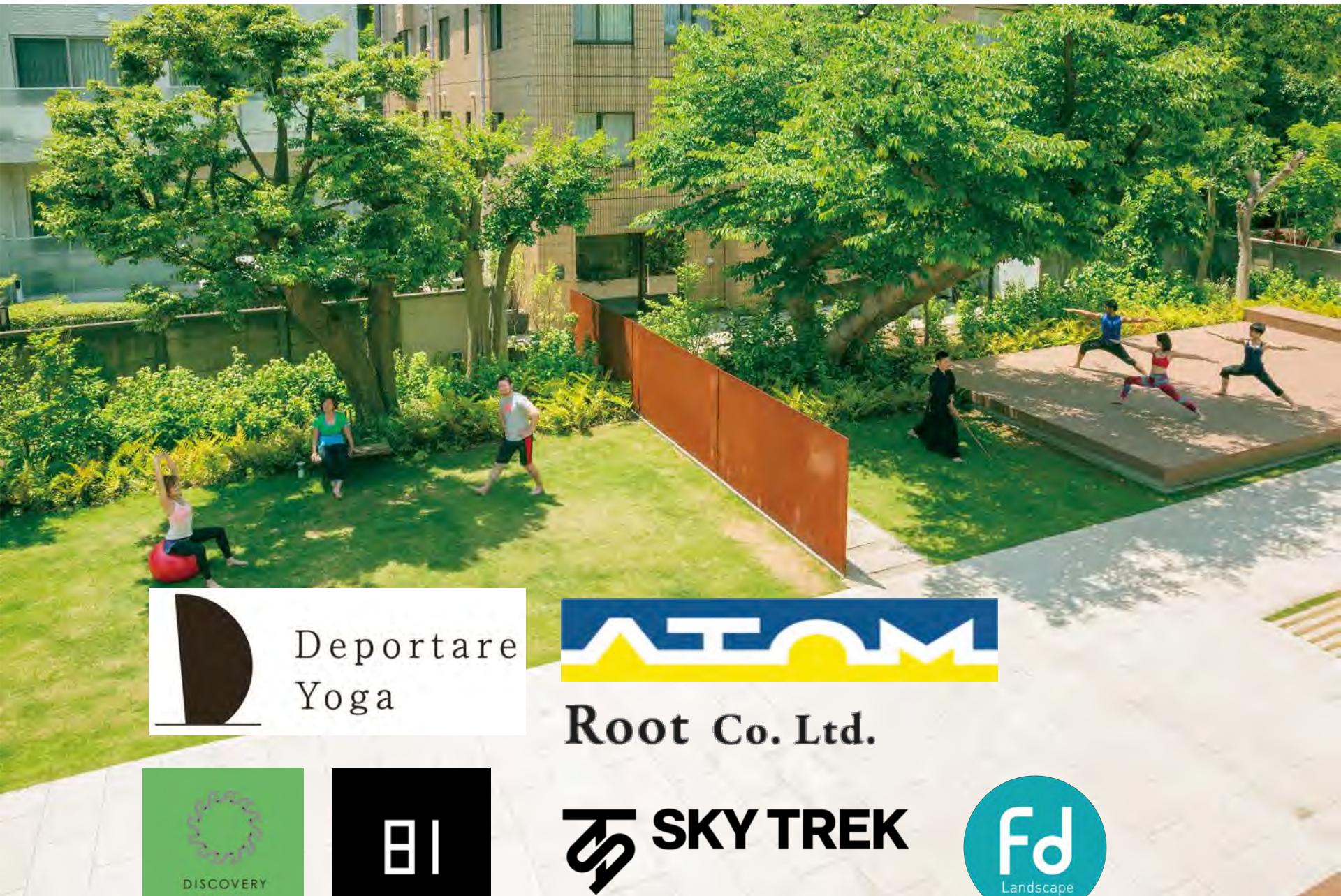
場所の使い方から発想する オープンでソーシャルな場所



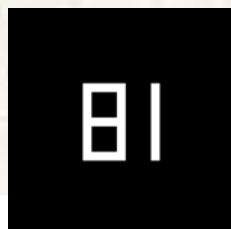
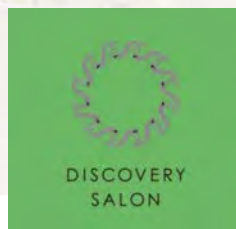
ヨガスペース

- * 屋外のヨガスペースは約 2.6m^2 が必要とされる。(ヨガ・マットの平均サイズは $1.8\text{M} \times 0.7\text{M}$) デッキ上で約20名強がレッスンに参加可能。
- * 余裕を持ったスタジオの構成にする場合は 4m^2 で15名となる。

コートヤードHIROO



Root Co. Ltd.



プレイスメイキング による 場所の編集作業 (変化のマネジメント)

- ・ 民地をパブリックに開き、年間2万人が訪れる
First Friday: 2014年から54回開催
- ・ プレイスメーカーによるプログラム・イベントの企画
運営
- ・ この場所で働く人たちが企画・実施する活動
夏の自由研究所etc.

FIRST FRIDAY (半分開く)











オープンスペースを起点にした都市再生

- ・BIZ(Business Improvement Zone)の対象域
デトロイト都市中心部の高速道路とデトロイト川に囲まれた140ブロック、約2.8km²が対象域
- ・参加は550社、年間約4億円の会費収入の一部をオープンスペースの戦略的マネジメントに使用



Cadillac Square

・地元のテレビ局が協賛するStreet Eats(ランチタイムに地元の食やスタートアップのシェフのフードトラックを提供)や、Quicken Loans(地元の住宅金融会社)が提供するスポーツゾーン(半面のバスケットボールコートが4面、ビーチバレーコート1面と滞留空間)



Downtown Detroit Partnership(米国)

#3 健康・スポーツのための オープンスペースのデザイン (官民連携)

Open Space for Health and Sports
(PPP)

すべてが公園のようなまち

公園を核にした官民連携による都市再整備

南町田グランベリーパーク

運動公園における実態と課題



運動公園とは：

都市公園の一つで都市住民全般の主として運動の用に供することを目的とする公園で都市規模に応じて一ヶ所あたり面積15-75haを標準として設置する

設置箇所数：

全国に829ヶ所
(合計敷地面積12,874ha, 1運動公園あたり約15.5ha)

$$\begin{array}{c} 400\text{m} \\ \text{400m} \end{array} \begin{array}{c} \text{400m} \\ \text{400m} \end{array} \times 829\text{ヶ所}$$

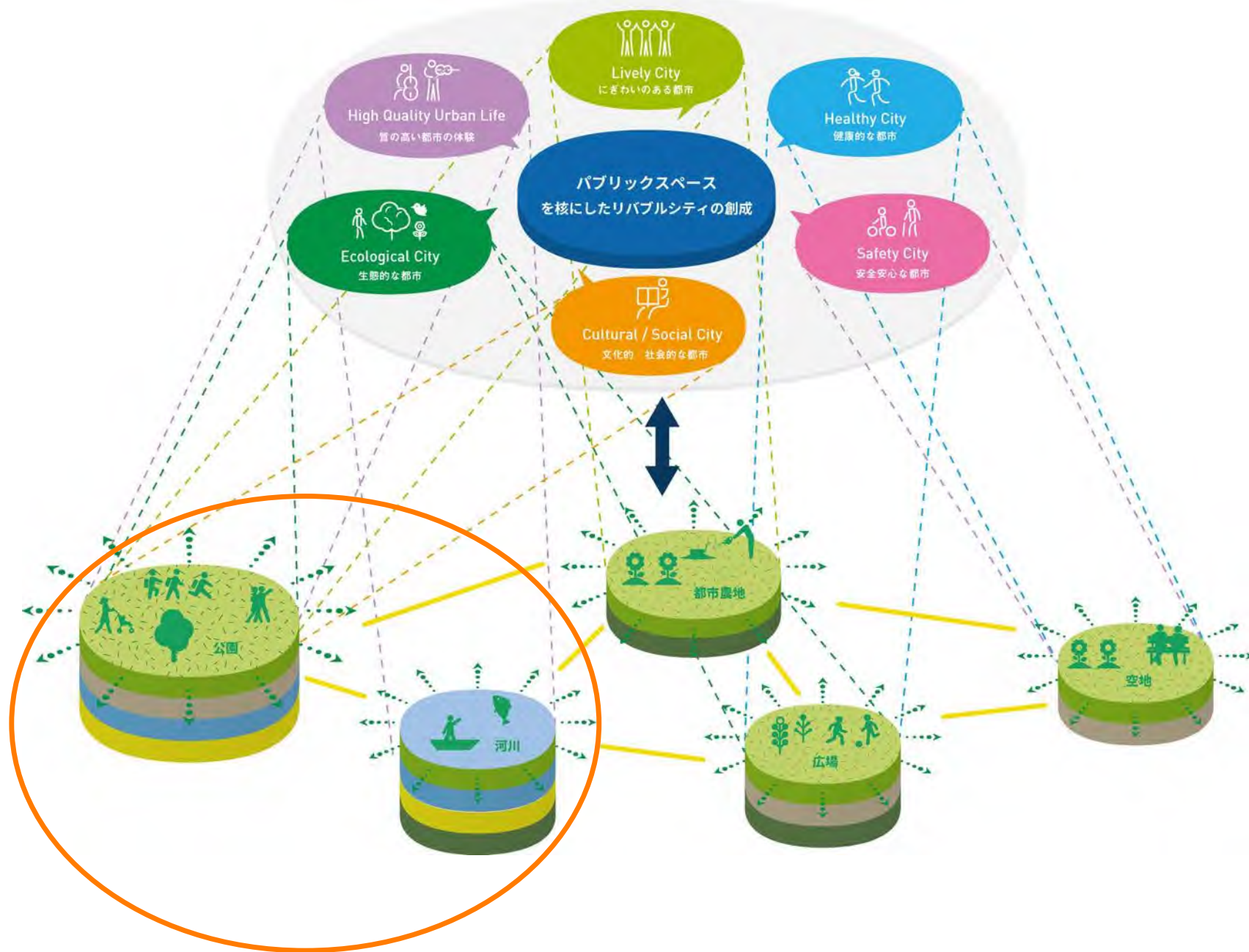


運動公園の持つ一般的な課題：

- ・施設の老朽化、付帯設備の不足
- ・競技スポーツのための施設主体の公園が多く、すべての人が健康・スポーツ活動にいそしめる場にはなっていない。
- ・施設と公園のマネジメントが形骸化

#3

・官民連携による運動公園を核にした都市の再整備・編集



3つのコンセプト



境川流域との統合

地域の中心的な
オープンスペース

健康になる機会と
サービスの創出

3つのコンセプト

鶴間公園を核（コア）とした

水と緑の健康生活ゾーン



多摩の

自然を
取り込む



自然



誰もが

健康に
なる



アクティブ
インクルーシブ



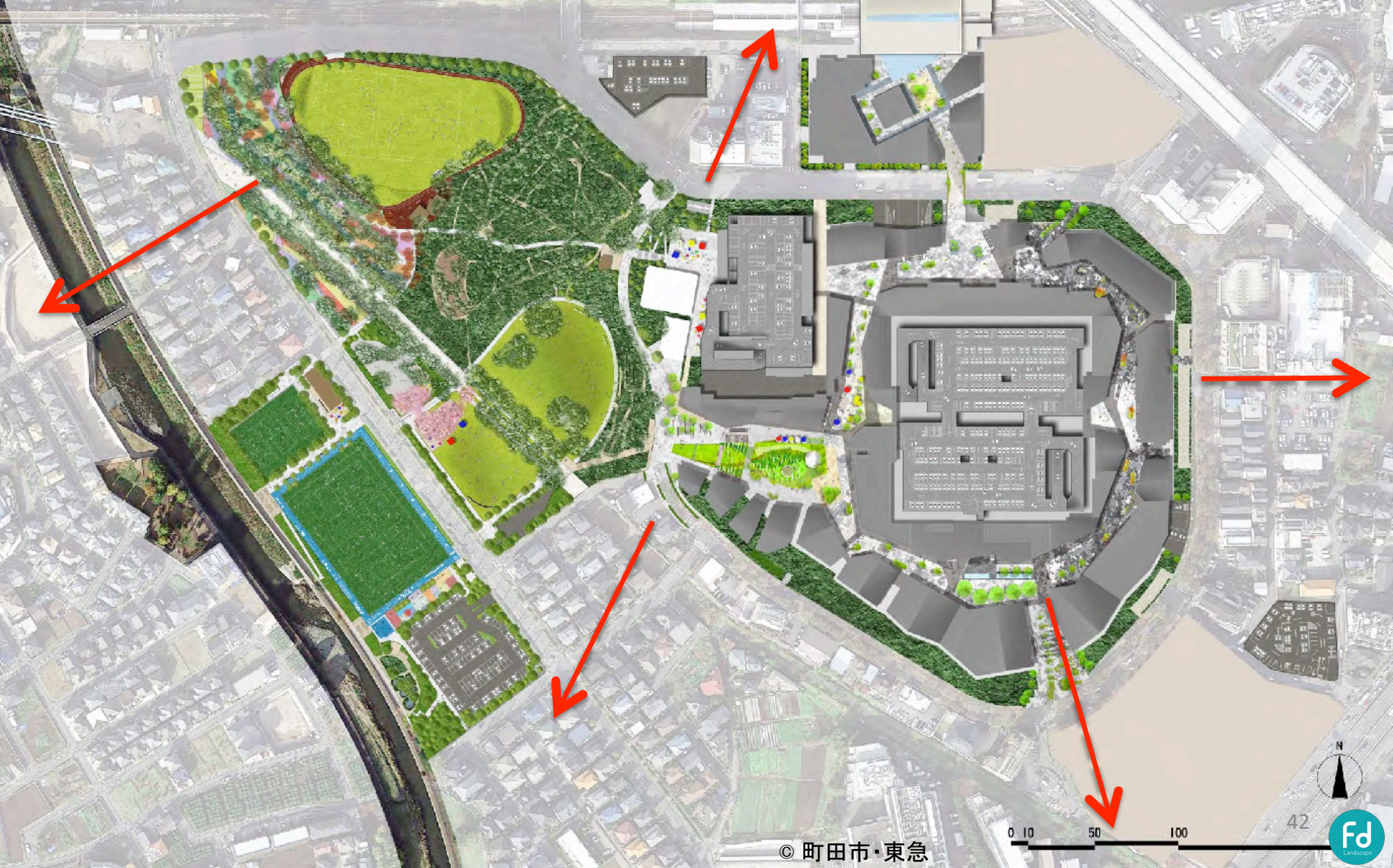
パーク

ライフを
再発見



パークライフ

公民連携による公園を核にした都市再整備：南町田グランベリーパーク
公園再整備を核にした街区スケールの取り組み。歩きやすいまちづくり、
健康都市、グリーンインフラ、文化・社会的な機能などを導入。



市民ワークショップを開催し計画・設計に反映（合意・主体形成）

第3回

健康づくり のワークショップ

第一部：【デザイン提案】デザインレビュー

第二部：【意見交換】鶴間公園で健康になる

ゲスト講師：黒野 崇 / 株式会社 BEACHTOWN

第3回"健康づくり"のワークショップ

日程

2016年9月10日（土曜日）/11日

場所

セミナープラス南町田 / 鶴間公園

参加人数

<第一部> 26名

<第二部> 雨天のため中止

ゲスト講師

黒野 崇 / 株式会社 BEACHTOWN 代表取締役

大学時代、ライフセイビング活動で人命救助の基礎、安全管理の重要性を学び、卒業後は病院に勤務。「なるべく病院に頼らない、薬に頼らない身体づくり」を提案する予防医学の現場に長く携わる。そこで得た経験と、サーフィンを通して知った「自然の中で身体を動かす心地よさ・楽しさ」の合致点を模索し、「アウトドアフィットネス」という新しい領域を考案。

WS の概要

公園のデザインレビューを実施し、様々なコメントをいただきました。

※黒野さんのレクチャーは、雨天により
残念ながら中止となってしまいました。



> デザインレビューの様子



> デザインレビューの様子



> (イメージ写真) ノルディック
ウォーキング



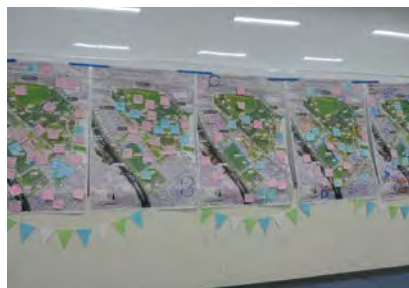
> (イメージ写真) ノルディック
ウォーキング



> グループワークの様子



> (イメージ写真) パークヨガ

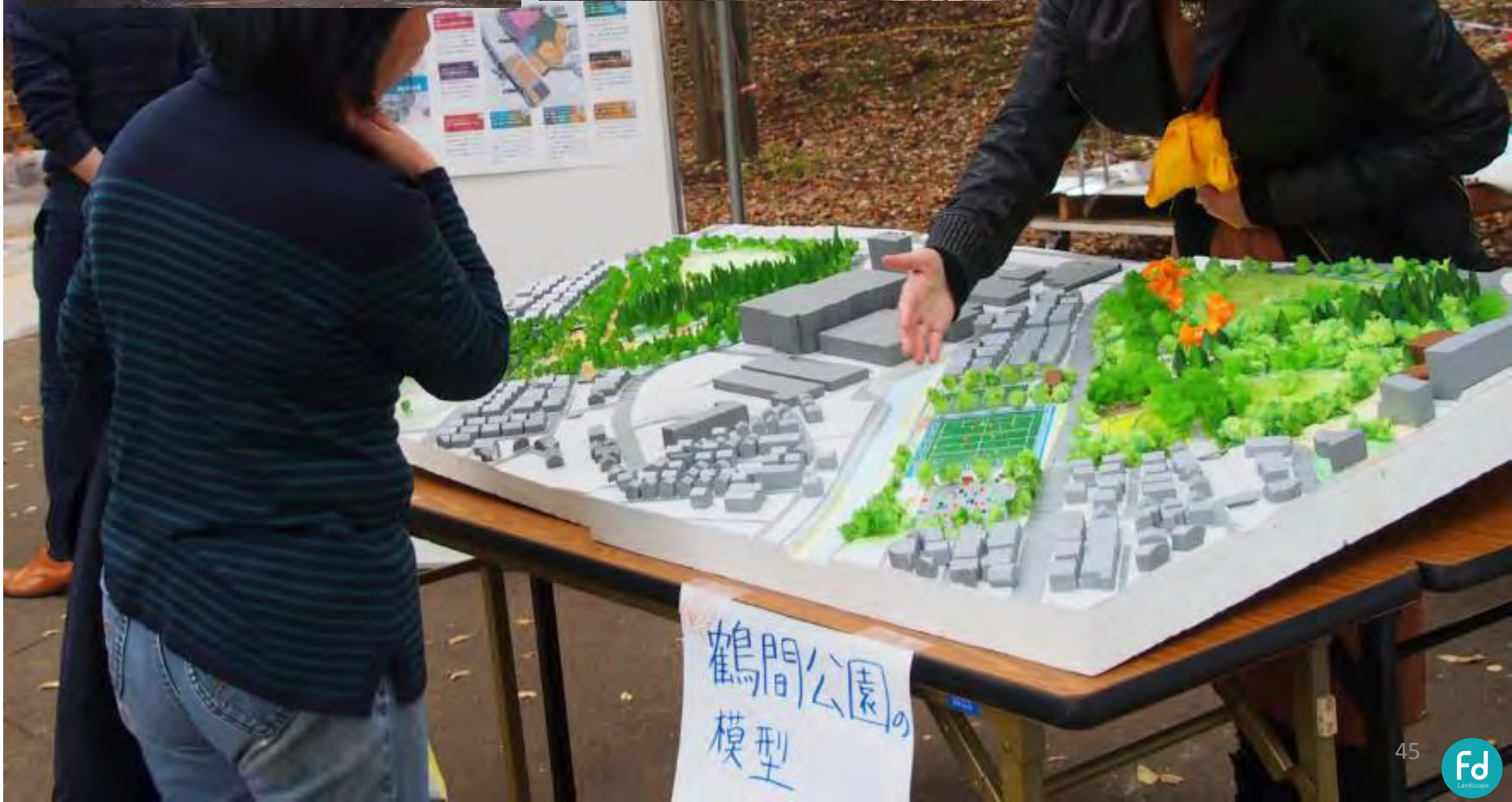


> グループワークの成果



> (イメージ写真) 早朝公園ヨガ

公園のがっこう祭を開催し管理運営の形を早期に模索（主体形成）



南町田グランベリーパーク: 楽しい立体地形で公園とつながるパークプラザ



南町田グランベリーパーク: 鶴間公園からパークライフサイト、グランベリーパークを俯瞰する





境川流域との統合

地域の中心的な
オープンスペース

健康になる機会と
サービスの創出



四季のエリア

運動広場

ウェルカムプラザ

ユリノキエリア

樹林エリア

シアタープラザ

グランベリープラザ

さわやか広場

マーケットプラザ

アートプラザ

スポーツエリア

パークライフ・サイト

パークプラザ

オアシスプラザ

鶴間公園 (公園エリア)

グランベリーパーク (商業施設)

公民連携による公園を核にした都市再整備：南町田拠点創出まちづくり



<http://minami-machida.town>

© 町田市・東急

公民連携による公園を核にした都市再整備：南町田拠点創出まちづくり

西側から水道道路を見る

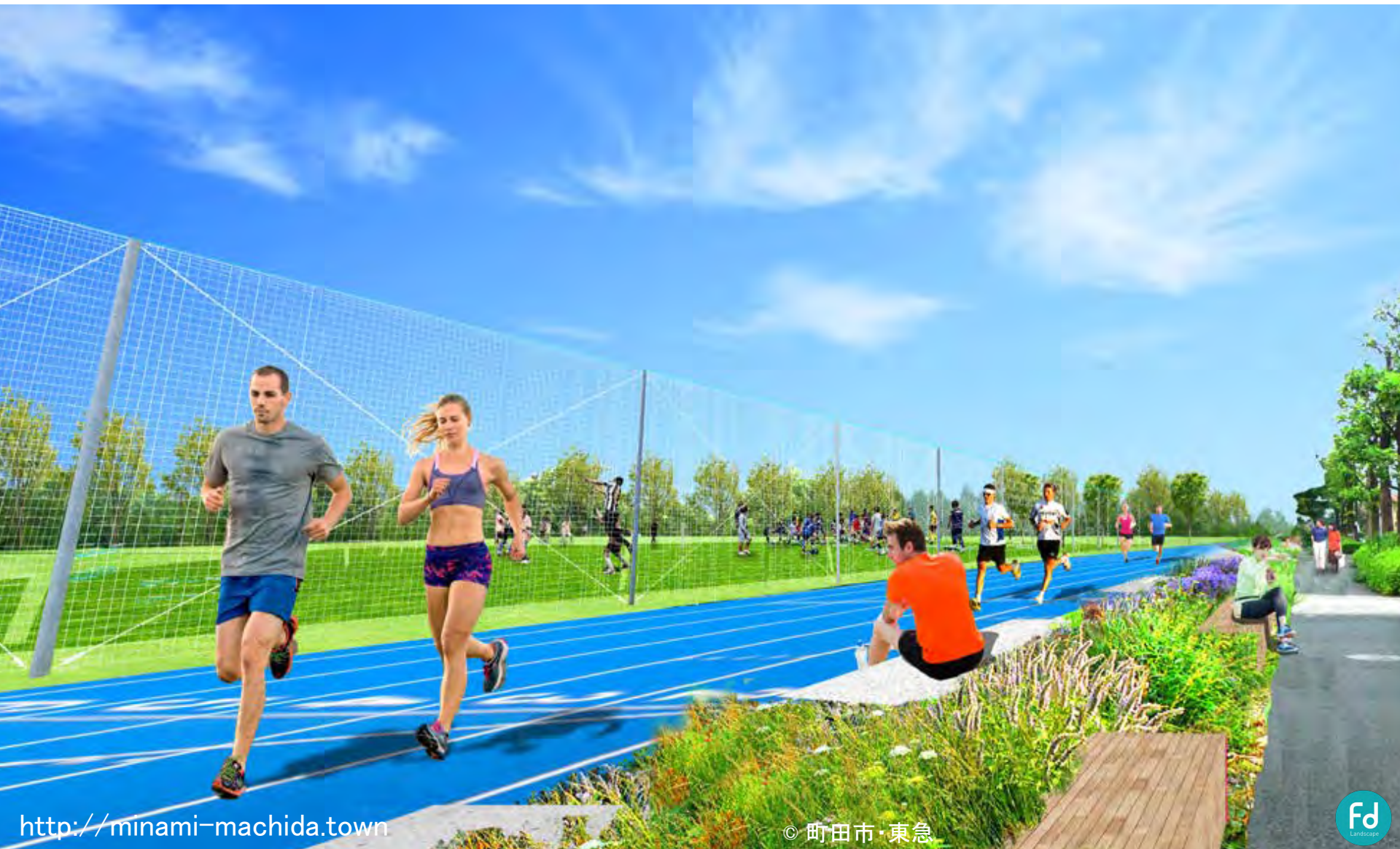


北側エントランスから多目的広場を見る



公民連携による公園を核にした都市再整備：南町田拠点創出まちづくり

ユリノキ通りからスポーツフィールドを見る



公民連携による運動公園を核にした都市再整備：南町田拠点創出まちづくり



- #1 住みやすい都市と健康・スポーツの戦略
- #2 健康・スポーツのためのオープンスペース
のデザイン(民有地)
- #3 健康・スポーツのためのオープンスペース
のデザイン(官民連携)

今後に向けた課題：

#1都市の健康・スポーツ戦略は誰がつくるのか？

- ・健康・スポーツを都市の戦略へ（アクティブデザイン、健康的な都市、ウォーカブルシティ）

#2健康・スポーツのための場所のつくりかた？

- ・オープンスペースはその一つ。競技スポーツだけでなく、「Sports for All」～誰もが、健康にスポーツにいそしめる場所のデザイン～を
- ・公園のみならず、まちや民地でも展開可能

#3スポーツ施設整備・管理から健康・スポーツの場所のデザイン、プレイスメイキングへ

- ・多世代の多様な健康・スポーツ利用に供するオープンスペースのデザインとマネジメントとは？

健康・スポーツのオープンスペースを媒介に多面的な機能と価値を創造し、住みやすい(健康的な)都市の骨格をつくる



THANK YOU!

Contact

tf206471@nodai.ac.jp

福岡孝則

東京農業大学地域環境科学部 造園科学科 准教授

国際余暇スポーツ施設協会日本支部 IAKS JAPAN

一般社団法人 ランドスケープアーキテクト連盟 JLAU